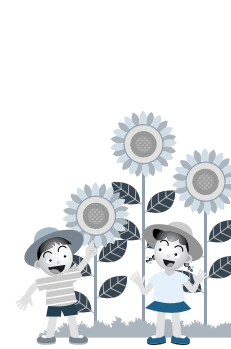


お出かけなさい!

● なかひまわりフェスティバル2005(那珂市)

市の花「ひまわり」を身近に感じ親しんでいただく、なかひまわりフェスティバルは、今年で10回目をむかえます。県内外からの問合せも多く、那珂市の夏の風物詩となっています。

一面に広がるひまわり畑は大変見ごたえのあるものになっています。皆さんぜひおいでください。



8月は経済産業省主唱の電気使用安全月間です

電気を安全に使う5つのポイント



- ① 漏電遮断器を取り付けて電気事故を防ぎましょう。
- ② アース線はしっかり取り付けましょう。
- ③ タコ足配線はやめましょう。
- ④ プラグはときどき点検しましょう。
- ⑤ 取扱説明書にそった使い方をしましょう。

場所 那珂総合公園と周辺
 主な内容 ひまわり迷路、いもほり大会、キャラクタースhower、花火大会、市内文化団体ステージ発表など

問合せ 那珂市役所
 経済課 商工観光室
 ☎029-1298-1111

文芸しるさと

俳句

虫流れ同じ流れに鯉の目
 一木 雄一郎
 風に乗りヨソトのターン梅雨晴間
 山崎 正行
 馬鈴薯を掘る晴天の土ゆたか
 いそべきよ
 幾度も書き損じては夏薊
 飯村 愛子
 叩いては上に押し上げ梅落し
 今瀬 多代美
 遊歩道夏鶯の頻りなり
 鯉 淵 寿美恵
 むくむくとダム隠しけり朝の霧
 阿久津 あい子
 はみ出して泰山木の花を描く
 田所 厚子
 フラックスを受信出来ずに夏至の朝
 高橋 芦江
 雨上がり蜘蛛の囀の揺れかがやけり
 飯村 昭子
 昼の雨菖蒲田の彩きはだてり
 和田 範子
 夏野菜英世の生家見えてさし
 竹内 幸子
 夏雲の影風紋を過ぎゆけり
 瀬谷 博子
 柿の花落ちて転げてじゃれ仔猫
 岩下 通子
 うら山で夏が来たよと蝉しぐれ
 岩下 美知野
 百合の花淡き桃色咲き初めて
 市川 義子
 つまづいて笑顔をひとつ偽造する
 山本 隆 莊

短歌

落慶の式を祝ぐがに境内を桜
 吹雪はひと日包めり
 渡辺 千紗子
 「みどりの日」気温三十度新
 緑の葉を透き透くる陽の光強し
 秋 山 愛子
 したたれる緑の中にとつぷりと
 つかりて日課の草を引きふるる
 大森 久子
 夜の耳に樹々の静かな語りひと
 呼吸と聞こえ来窓の隙間より
 高堀 よしの
 一日のみ好天候なる稚児行列
 これ観音の御守護ならむか
 佐川 あや
 無限なる重荷背負うか愛子さ
 ま女性天皇認定成らば
 杉山 みちこ
 孫娘の贈りくれたる花鉢を愛
 でつつ朝夕花と語らふ
 宮本 ふみ江
 隣田は水まんまんとせる巨き
 水鏡生れて白雲映す
 所 美恵子
 数日を都会に経たるその間に
 麦は丈高く青き穂そろう
 藤原 千代
 初夏の風に踊りつつわが前を
 何処へ行くやらタンポポの種
 山形 式 妙
 母の日に亡き母へ捧ぐるカ
 ネーション燈明に白く輝き応ふ
 青柳 京子
 幾度も手を舐め顔を抜ふ猫仕
 草をしばし見取れていた
 阿良山 ウメノ
 梅雨晴間緑の絨毯敷きつめた
 さやけき風受け植田波うつ
 仲田 こう

《花桐短歌会》

老いてゆくわれの楽しみ一つづ
 つ忘るることをよしとして生く
 薄井 ひろ
 山つつじ真赤に咲ける峽の道
 行けばかそけき沢の音聞こゆ
 枝 不美
 花の季過ぎしさくららの並木路
 の若葉の冷えは肌沁むなり
 片見 和枝
 餌をまきて手をあげ野鳥招き
 つ一茶の句をふと口ずさみたり
 川上 千代子
 コンサート済みて湖辺を歩み
 れば風はやさしき初夏の香りす
 島 愛子
 薄紙に包まれてあるサクラ貝
 みつけたる磯を波が消しむむ
 多田 志保子
 耳とおくなりて返事をせぬ吾
 に息子の声あらし朝の仕事場
 坪井 きよ子
 出刃を持つ我を見つむる編鯨
 の目は優しげに小さく円し
 萩谷 登喜子
 湯舟にて細身の体撫でながら
 遠き過ぎゆきの思い出に浸る
 和知 美智子
 那須山の奥にゴッソツジを訪ひ来
 れは陽に透きて艶に気高く咲けり
 富田 佐智子

